

### 20周年記念新年会 社業まい進誓う 二本松の丸中建設



新野市長に寄付金を  
手渡す遊佐社長(右)

二本松市の丸中建設の設立二十周年記念新年会は十日、市内の二本松御苑で開かれた。従業員、取引業者ら

約百人が出席した。遊佐憲雄社長が「一人との出会い、ご縁に感謝し、社業発展にまい進したい」とあいさつした後、

新野洋市長に市交通遺児基金への寄付金二十万円を手渡した。新野市長、遊佐久男県議、本多勝一安達太良建設協会長らが祝辞を述べた。出席者は杯を交わしながら和やかに懇談した。

記念講演会も開き、近鉄バファローズなどで活躍した野球解説者の佐野慈紀さんが自身の野球人生について語った。

### さらなる発展へ決意新た

丸中建設  
二本松市に  
寄付金贈呈も  
20周年記念講演会

丸中建設(遊佐憲雄社長)は10日、二本松市の二本松御苑で安全祈願祭、20周年記念講演会、新年会を開き、今年一年の無事故・無災害を祈り、さらなる発展を誓った。

会社設立から20年の節目を迎え、遊佐社長がこれまでの歩みや今後の経営方針を述べたほか、交通遺児支援への一助として、3年先のビジネスを

て、二本松市へ20万円を寄付した。

来賓、社員合わせて約100人が出席。神事は遊佐社長ら関係者が玉くしをささげて工事の安全を祈願した。遊佐社長が「人材の育成、個人のスキルアップ、新技術の習得などに力を入れ、海外での事業展開を見据えて、3年先のビジネスを



確立できる企業としての」と述べ、決意を新たにした。  
記念講演会では、野球解説者の佐野慈紀氏が

20年の歩みを紹介する遊佐社長

「日米野球を通して学んだこと」と題して講話した。

新年会では来賓の新野洋二本松市長、遊佐久男県議会議員、本田勝一安達太良建設協会会長らが祝辞を寄せた。安田利実二本松信用金庫専務理事の発声で乾杯し、参加者は和やかに歓談しながら親睦を深めた。

20周年の節目祝う

二本松・丸中建設新年会

二本松市の丸中建設(遊佐憲雄社長)は10日、同市の二本松御苑で設立20周年記念新年会を開いた。出席者が節目の年を祝った。

約100人が出席。今年1年の工事の安全を願う安全祈願祭の後、遊佐社長が、設立20周年の歩みをテーマに講演。元プロ野球選手で野球解説者の佐野慈紀さんが記念講演した。



安全祈願祭などが行われた新年会

新年会では、遊佐社長が「20周年は一つの通過点で、新たな目標への出発点。これから人と人とのつなが

りを大切に、社員一同果たすべき役割を自覚し、努力していきたい」とあいさつ。新野洋市長、遊佐久男県議らがお祝いの言葉を述べた。